

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0104	政策名	観光の振興	施策主管課	観光課	課長名	藤井 淳
政策の目指す姿	国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出しています						
施策No	03	施策名	移動しやすい観光地	関係課名			
施策の目指す姿	観光客がスムーズに移動しています						
現状と課題							
<ul style="list-style-type: none"> 観光施設等の改廃や道路改良、路線変更に対応した適切な箇所への観光案内看板の設置が求められています。 市内の観光施設を巡る周遊バスは、広範囲に及び観光資源を周遊するためのコース設定が求められています。 							

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 観光客にとって二次交通は観光の重要な要素であることから、魅力的なコース設定、適正な利用料金を検討する。 二次交通全般について、増加が期待できる外国人個人観光客の対応を含め、国内外へのわかりやすい情報発信に努めるとともに、国内外旅行会社へのセールス強化を図る。
反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 新幹線や在来線の主要な駅に到着した観光客の市内温泉宿泊施設や観光施設への移動を支援するジャンボタクシー「どんぐり・やまねこ号」を運行する事業を実施した。平成31年度は適正な利用料金設定、相応の受益者負担の観点から利用料金を値上げした。同年度は前年度と同様のコース設定で運行した。 団体旅行貸切バスを活用した国内・海外の発着ツアー造成に対し支援する事業を実施した。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1) 観光案内表示の充実 観光客にわかりやすい観光案内看板の設置と維持管理 ・設置から相当年数経過した標識の撤去、路線変更等による標識の変更、新設を実施</p> <p>(2) 観光施設間の移動手段の確保 駅から温泉、観光施設間の二次交通の運行支援 ・花巻温泉郷が共同運行する新花巻駅から温泉施設等への無料送迎バス運行事業への支援 利用者ニーズに対応した魅力的な二次交通の運行支援 ・花巻観光協会が実施する主要JR駅発着の観光施設、温泉施設等を巡るレトロジャンボタクシー運行事業への支援 団体貸切バスツアーの運行支援 ・市内宿泊施設に1泊するツアー造成した場合、バス経費に対して支援し、国内・海外ツアー造成を促進する事業を実施</p>
--

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
案内板表示に満足した観光客の割合	観光施設等目的地に迷うことなく到着することができたか、観光客ニーズとともに調査測定することとしたもの。	花巻市観光客満足度アンケートに「案内板表示に満足できたか」という設問を追加して調査する。	%	目標値		90.00	90.00	90.00		
				実績値		87.00	87.00	84.00		
観光環状バス等の利用者数	二次交通となる宿泊施設と駅等を結ぶ送迎バスと主要観光施設を巡る周遊観光バスがどの程度利用されているかを示す指標として設定する。	事業主体からの実績報告 ・温泉郷宿泊施設等送迎バス ・主要観光施設周遊バス	万人	目標値		5.80	5.90	5.90		
				実績値		5.50	5.50	5.47		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>成果指標「案内板表示に満足した観光客の割合」・・・【達成度b】 概ね目標値に近い数値となったが、老朽化した標識等の撤去も並行して行っていることや予算の平準化の観点から毎年度更新を少しずつ進めていることもあり、目標値を上回る結果とならなかった。</p> <p>成果指標「観光環状バス等の利用者数」・・・【達成度b】 レトロジャンボタクシーによる「どんぐり・やまねご号」での、一定程度の受益者負担が必要との判断で利用料金の値上げ実施や、年度末の新型コロナウイルス感染症の国内での広がりを受け、県外からの往来が激減した結果、バス等の利用者数も減少した。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>・（観光ルート整備事業費）新型コロナウイルス感染症の感染を危惧する旅行者が増えると予想されることから、少人数での二次交通利用を希望する需要が増加する可能性が高く、その状況に応じた事業を展開し、結果、市内温泉施設の利用に繋がる事業に変更していく必要がある。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
なし

5 施策の総合的な評価

課題
<p>・二次交通利用促進をする上で、利用時の新型コロナウイルス感染症の感染予防対策をしっかりと講ずる必要がある。また、少人数利用者の需要に応じた事業展開を検証する必要がある。</p> <p>・市内観光施設周遊バス運行については、移動距離・運行時間・乗車料金等も含め、随時コース等の見直しを行うなど、新たな魅力を追加する必要がある。</p> <p>・観光案内標識の新設・更新等を行うには多額の経費がかかることから、事業費の平準化に努める必要があり、計画的に事業を実施する必要がある。</p>
今後の方向性
<p>・安心して観光客が利用出来る二次交通の確保をするため、利用時の感染予防対策について委託事業者等との綿密な打合せを行い、少人数利用希望に対応した乗車数制限や定期的な換気、消毒液の設置等、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底して事業を行う。</p> <p>・JR駅から宿泊施設・観光施設を結ぶ二次交通は、観光客にとって観光する上での重要な要素であることから、随時途中で立ち寄る観光施設等のコース設定を見直し、より魅力的なコースを検討する。</p> <p>・観光案内標識の新設・更新等の整備計画の随時見直しを行い、観光施設の改廃、道路改良等により、案内が不足している部分や内容変更が必要な部分等に対応しながら計画的な整備を行う。</p>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	観光ルート整備事業費	観光	一致	直結	C
	花巻温泉郷共同送迎バス運行支援(利用者数 53,031人)、市内観光施設周遊バス運行支援(運行日数 248日、利用者数 1,653人)、団体旅行貸切バスツアー運行支援(支援台数 497台、利用者数 15,792人) 28,562千円				
			A		
020	観光案内板整備事業費	観光	一致	直結	B
	観光案内板の撤去、新設(更新)、修繕 4,876千円 (撤去 2基、更新 3基、修繕 6基、新規 1基 計 12基)				
			A		